

回天の模型 小学生見学

大津島で教育プログラム



子どもたちが海に触れ、その大切さなどを学ぶ「次世代教育プログラム」が24日、2日間の日程で始まった。初日は、周南市大津島の回天記念館を見学。25日には、周防大島で地引き網などに取り組む。

日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で、JT B中国四国徳山支店が企画した。周南、光、下松市などの小学生たちが参加。

回天記念館で松本紀是館長(としの)(71)から説明を受けたり、旧日本海軍の人間魚雷「回天」の実物模型を見学したりした。

周南市から参加した小学3年生の清水奈依さん(9)は「家族を守ろうと回天で亡くなるなんてかわいそう。互いを傷つけ合う戦争は、やってはならないと感じた」と話していた。

(徳山徹)